

# 安全人報誌

安衛委 No127  
平成24年9月5日  
安全衛生推進委員会

## 全国労働衛生週間

全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保等を目的に実施されてきました。建設業における業務上疾病による被災者数は、平成二十二年においては、記録的な猛暑による熱中症の多発により増加しましたが、平成二十三年は、労働衛生教育や熱中症予防対策などの取組の強化、快適な職場環境づくりの推進等により、前年比八十一人減少し、八百人となりました。さらに、東日本大震災復旧・復興工事等において、建築物等の解体改修及びガレ



キ処理 船引町清水  
等の仕事 清水敬介先生  
業にお 断結果に基づ  
ける石 いて、個別指  
綿ばく 導をして頂きました。  
露なら

## 健康管理教室



びに除染作業における放射線被ばく等の健康障害予防対策が重要となっており、このような状況に対処するため、職業性疾病予防対策や過重労働による健康障害予防対策、メンタルヘルス対策などを重点事項に掲げ、健康で安心して働ける職場環境の形成の促進を図りながら、作業者の心とからだの健康と快適な職場づくりの重要性を再認識し、誰もが安心して働ける快適な職場づくりを目指して準備期間九月一日～九月三十日本週間十月一日～七日まで

指導を受けられた方や、定期健康診断の結果要精検となっている方は、早めの治療を行い悪化させないようにしてください。自分の身体は自分で管理し、最悪の状態になるのを防ぎましょう。

## 熱中症にならないために

熱中症は、ちよつとした注意で防ぐことが出来ます。暑い夏を元気に過ごすため熱中症のことをよく知りしつかり予防しましょう。

○体調を整える  
睡眠不足や風邪ぎみなど、体調の悪いときは暑い日中の外出や運動を控える。

○服装に注意  
通気性のよい洋服を着て、外出するときは帽子等をかぶる。

○こまめに水分補給  
のどが乾いたと感じたときは、すでにかんりの水分不足になつていることが多いので、定期的に少しずつ水分を補給する。

○年齢も考慮に入れて  
体内の機能が発育途中の子どもや、体力が衰え始めた高齢者は熱中症になりやすいので、年齢を意識して予防を心掛ける。

## 秋の全国交通安全運動

期間九月二十一日（金）～三十日（日）  
例年、秋口からは日没時刻が早まり、帰宅時間と重なるため、交通事故が多発する時期です。特に、日没時刻の前後二時間は重大事故が多発する時間帯です。

昨年、県内では、交通事故で九十四人が死亡しましたが、九月の交通事故死者は十三人、九月～十二月の交通事故死者は四十一人に上り、年間の約43.6%を占めました。

夕暮れ時や夜間の交通事故を防ぐには歩行者は

○外出時の明るい服装、夜光反射材の着用、懐中電灯の使用の他、履き物や携行品へ夜光反射材を取り付けましょう。

○車両接近時には無理な横断はしないことを心掛けましょう。

ドライバーは  
○「夕方早めのライト点灯」「原則上向ライト」を徹底し、歩行者や自転車等の早期発見に努めましょう。

○ライトの届く範囲しか見えないので、速度は控えめにし、人かも知れないと思つたら、まずは減速することなどを心掛けてください。

